

内閣府委託調査

平成 27 年度  
育児と介護のダブルケアの  
実態に関する調査

報告書

平成 28 年 3 月

株式会社 NTT データ経営研究所

# 目次

はじめに.....	1
<b>1. 調査研究の概要.....</b>	<b>1</b>
1.1. 目的.....	1
1.2. 調査研究手法.....	1
1.3. ヒアリングによる検証.....	2
<b>2. 先行研究の整理.....</b>	<b>3</b>
2.1. 目的及び方法.....	3
2.2. 先行研究の整理.....	3
2.3. 先行研究の整理結果.....	4
2.3.1. ダブルケアの推計について.....	4
2.3.2. 対象者の人数、割合について.....	5
2.3.3. 対象の就業状況.....	7
2.3.4. 対象の抱える問題と必要とする社会的支援.....	7
2.3.5. 先行研究の調査のまとめ.....	8
<b>3. ダブルケア人口・世帯の推計.....</b>	<b>9</b>
3.1. ダブルケア人口・世帯の推計方法.....	9
3.2. 就業構造基本調査（平成 24 年）による推計.....	13
3.2.1. 育児を行う者の推計人口.....	13
3.2.2. 介護を行う者の推計人口.....	13
3.2.3. ダブルケアを行う者の推計人口.....	14
3.2.4. ダブルケアを行う者の割合.....	14
3.2.5. ダブルケアを行う者の年齢構成.....	16
3.2.6. ダブルケアを行う者の婚姻状況.....	19
3.2.7. ダブルケアを行う者の就業状況.....	20
3.3. 国民生活基礎調査（平成 13 年、平成 19 年、平成 25 年）による推計.....	40
3.3.1. 育児を行う世帯.....	40
3.3.2. 介護を行う世帯.....	41
3.3.3. ダブルケアを行う世帯の状況.....	43
<b>4. ダブルケアを行う者の実態に関するインターネット・モニターによる調査の結果.....</b>	<b>61</b>
4.1. 調査の概要.....	61
4.1.1. 集計方法.....	61
4.1.2. 調査項目の概要.....	63
4.2. インターネット・モニターによる調査の結果（基本集計結果）.....	64
4.2.1. 回答者の属性.....	64
4.2.2. ダブルケアを行う者の特徴.....	66
4.2.3. 子育てと介護の負担感の度合い.....	68
4.2.4. 被介護者の状況.....	72
4.2.5. ダブルケアによる日常生活の変化.....	74
4.2.6. ダブルケアに関する周囲からの支援の状況.....	80
4.2.7. 子育てに関する支援制度・サービスの利用の有無と今後の利用意向.....	84
4.2.8. 介護に関する支援制度・サービスの利用の有無と今後の利用意向.....	86
4.2.9. ダブルケアに直面した場合のあるべき働き方や担い手に関する意見・要望.....	88
<b>5. 分析結果からの考察.....</b>	<b>92</b>
5.1. ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の状況.....	92
5.1.1. ダブルケアを行う者のうち自分の子育児する者の年齢層.....	92
5.1.2. ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の主な担い手.....	93

5.1.3.	ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の子育て・介護をはじめた時期.....	93
5.1.4.	ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の介護対象者の要介護認定状況.....	94
5.1.5.	ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者のダブルケア前後の就業の状況.....	95
5.1.6.	自分の子を育児する者のうち現在有職である者の今後の働き方に関する意識.....	96
5.1.7.	ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の子育てとの介護の負担感の度合い.....	97
5.1.8.	ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の子育てと介護のあるべき担い手に関する意見	99
5.1.9.	ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の状況（総括）.....	100
5.2.	女性のダブルケアを行う有業者（正規職員・従業員）の状況.....	101
5.2.1.	女性のダブルケアを行う有業者（正規職員・従業員）の就業時間.....	101
5.2.2.	女性のダブルケアを行う有業者（正規職員・従業員）の育児・介護支援制度活用状況.....	104
5.2.3.	女性のダブルケアを行う有業者（正規職員・従業員）の状況（総括）.....	106
5.3.	男性のダブルケアを行う者の特徴.....	107
5.3.1.	属性分析.....	108
5.3.2.	負担感.....	108
5.3.3.	男性のダブルケアを行う者に対する周囲のサポート状況.....	117
5.3.4.	男性のダブルケアを行う者が利用しているサービス.....	121
5.3.5.	男性のダブルケアを行う者の理想とする働き方と規範意識.....	131
5.3.6.	男性のダブルケアを行う者が求める支援策.....	134
5.3.7.	男性のダブルケアを行う者の特徴（総括）.....	137
	おわりに.....	139
6.	付属資料.....	140
6.1.	実施体制.....	140
6.2.	付表.....	141

## 図表目次

図表 1-1 有識者ヒアリング先一覧	2
図表 2-1 先行研究整理の観点	3
図表 2-2 抽出した先行研究の一覧	4
図表 2-3 各調査におけるダブルケアの定義	5
図表 3-1 公的統計調査において見かけ上のダブルケアとなる者・世帯について	11
図表 3-2 【参考】就業構造基本調査における「育児」、「介護」の定義について	12
図表 3-3 育児を行う者の推計人数(性別)	13
図表 3-4 介護を行う者の推計人数(性別)	13
図表 3-5 ダブルケアを行う者の人数(性別)	14
図表 3-6 ダブルケアを行う者の割合	14
図表 3-7 ダブルケアを行う者の 15 歳以上人口に占める割合(地域別)	15
図表 3-8 ダブルケアを行う者の割合(年齢構成別)	16
図表 3-9 ダブルケアを行う者の平均年齢	16
図表 3-10 育児のみを行う者の割合(年齢構成別)	17
図表 3-11 育児のみを行う者の平均年齢	17
図表 3-12 介護のみを行う者の割合(年齢構成別)	18
図表 3-13 介護を行う者の平均年齢	18
図表 3-14 ダブルケアを行う者の婚姻状況	19
図表 3-15 ダブルケアを行う者の有業・無業の別	20
図表 3-16 ダブルケアを行う有業者の就業形態	21
図表 3-17 ダブルケアを行う有業者の勤め先の企業規模	21
図表 3-18 ダブルケアを行う有業者の 1 年間あたり就業日数	22
図表 3-19 ダブルケアを行う有業者の 1 週間あたり就業時間	23
図表 3-20 ダブルケアを行う有業者の所得	23
図表 3-21 ダブルケアを行う有業者の就業継続意向	24
図表 3-22 ダブルケアを行う有業者転職希望者が転職を希望する理由	25
図表 3-23 ダブルケアを行う有業者転職希望者の希望する就業形態	26
図表 3-24 ダブルケアを行う有業者転職希望者の転職・開業準備等の状況	27
図表 3-25 ダブルケアを行う有業者の就業時間に関する意向	28
図表 3-26 ダブルケアを行う無業者の就業意向	29
図表 3-27 ダブルケアを行う無業者 就業希望者の就業希望理由(単数回答)	30
図表 3-28 ダブルケアを行う無業者 就業希望者の希望する雇用形態(単数回答)	31
図表 3-29 ダブルケアを行う無業者 就業希望者の求職・開業準備等の状況	32
図表 3-30 ダブルケアを行う無業者 就業希望者のうち、求職・開業準備等をしていない理由(単数回答)	33
図表 3-31 ダブルケアを行う無業者 非就業希望者が就業を希望しない理由(単数回答)	34
図表 3-32 ダブルケアを行う無業者の 1 年前の就業状況	35
図表 3-33 ダブルケアを行う無業者で 1 年以上就業していない者の就業経験の有無	36
図表 3-34 ダブルケアを行う者で前職がある者 前職での雇用形態(単数回答)	37
図表 3-35 ダブルケアを行う者で前職がある者 前職を辞めた理由(単数回答)	38
図表 3-36 前職がある者 前職を辞めた理由が「介護・看護のため」である者における育児・介護の状況	38
図表 3-37 ダブルケアを行う者 過去 1 年間における勤務先の育児支援制度利用状況(複数回答)	39
図表 3-38 ダブルケアを行う者 過去 1 年間における勤務先の介護支援制度利用状況(複数回答)	39
図表 3-39 育児を行う世帯数	40
図表 3-40 介護を行う世帯数(手助けや見守りを要する者がいる世帯数)	41
図表 3-41 被介護者(見守りや手助けを要する者)の自立状況別世帯数	41
図表 3-42 被介護者の要介護認定の有無別世帯数	42
図表 3-43 ダブルケアを行う世帯数	43
図表 3-44 (参考)ダブルケアを行う世帯数(被介護者から見た主な介護者の続柄により抽出した場合)	43
図表 3-45 ダブルケアを行う世帯における乳幼児の日中の保育者等(複数回答)	44
図表 3-46 ダブルケアを行う世帯 被介護者の自立状況	45
図表 3-47 ダブルケアを行う世帯被介護者の要介護認定状況	46
図表 3-48 ダブルケアを行う世帯における介護の期間	47
図表 3-49 ダブルケアを行う世帯における主な介護者の続柄(被介護者から見た続柄)	48
図表 3-50 ダブルケアを行う世帯における主な介護者の同別居の別	49
図表 3-51 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者の年齢構成	50

図表 3-52 介護のみ行う世帯における同居の主な介護者の年齢構成	51
図表 3-53 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者の配偶者の有無	52
図表 3-54 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者の仕事の有無	53
図表 3-55 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者 有業者で雇用されている者の雇用形態	54
図表 3-56 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者 有業者の就業日数/週	55
図表 3-57 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者 有業者の就業時間/日	56
図表 3-58 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者 無業者の就業意向	57
図表 3-59 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者 無業かつ就業希望者が希望する雇用形態	58
図表 3-60 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者 無業かつ就業希望者がすぐに就業できるか	59
図表 3-61 ダブルケアを行う世帯における同居の主な介護者 無業かつ就業希望者がすぐに就業できない理由(複数回答)	60
図表 4-1 インターネット・モニターによる意識調査 調査概要	61
図表 4-2 プレ調査による対象者抽出の条件	62
図表 4-3 インターネット・モニターによる意識調査 調査項目の概要	63
図表 4-4 回答者の性別(単数回答)	64
図表 4-5 回答者の年齢層(単数回答)	64
図表 4-6 回答者の婚姻状況(単数回答)	65
図表 4-7 回答者の同居者(複数回答)	65
図表 4-8 ダブルケアを行う者の児童の就学状況(単数回答)	66
図表 4-9 ダブルケアを行う者の児童の続柄(単数回答)	66
図表 4-10 ダブルケアを行う者による介護対象者の続柄(単数回答)	67
図表 4-11 ダブルケアを行う者による子育て対象者および介護対象者の続柄(単数回答)	67
図表 4-12 子育て及び介護の主な担い手(単数回答)	68
図表 4-13 子育て及び介護の負担感(単数回答)	68
図表 4-14 子育てにおける種類別の負担感(単数回答)	69
図表 4-15 介護における種類別の負担感(単数回答)	70
図表 4-16 ダブルケアを行う者の介護頻度(単数回答)	71
図表 4-17 ダブルケアを行う者の介護 1 回あたりの平均時間(単数回答)	71
図表 4-18 ダブルケアを行う者の介護対象者の状況(単数回答)	72
図表 4-19 ダブルケアを行う者の介護対象者の要介護認定状況(単数回答)	72
図表 4-20 ダブルケアを行う者の介護対象者の居住状況(単数回答)	73
図表 4-21 ダブルケアを行う者の介護対象者の住まいまでの距離(単数回答)	73
図表 4-22 ダブルケアを行う者の子育て・介護の開始時期(単数回答)	74
図表 4-23 ダブルケアが始まる前後の就業状況(単数回答)	75
図表 4-24 ダブルケアが始まった後の業務量の変化(単数回答)	75
図表 4-25 ダブルケア後に業務量や労働時間等を変えなくて済んだ理由や背景(複数回答)	76
図表 4-26 ダブルケア後に業務量や労働時間等をコントロールできなかった理由や背景(複数回答)	77
図表 4-27 現在(ダブルケア後)で有職である者の今後の働き方に対する希望(単数回答)	78
図表 4-28 現在(ダブルケア後)で無業である者の今後の働き方に対する希望(複数回答)	78
図表 4-29 現在(ダブルケア後)で無業だが就業意向のある者の希望する就業形態(単数回答)	79
図表 4-30 ダブルケアを行う者への支援者別の支援頻度(単数回答)	81
図表 4-31 ダブルケアを行う者への支援者別の支援内容(複数回答)	83
図表 4-32 ダブルケアを行う者の子育てに関する支援制度・サービスの利用状況と今後の利用意向(単数回答)	85
図表 4-33 ダブルケアを行う者の介護に関する支援制度・サービスの利用状況と今後の利用意向(単数回答)	87
図表 4-34 ダブルケアに直面した場合の望ましい働き方(単数回答)	88
図表 4-35 子育てのあるべき担い手に対する意見(単数回答)	88
図表 4-36 介護のあるべき担い手に対する意見(単数回答)	89
図表 4-37 行政に拡充してほしいダブルケア関連の施策(左:複数回答、右:単数回答)	89
図表 4-38 勤務先に拡充してほしいダブルケア関連の施策(左:複数回答、右:単数回答)	90
図表 5-1 ダブルケアを行う者の児童の続柄(単数回答)	92
図表 5-2 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の年齢層(単数回答)	92
図表 5-3 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の子育て及び介護の主な担い手(単数回答)	93
図表 5-4 自分の子を育児する者の子育て・介護の開始時期(単数回答)	93
図表 5-5 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の介護対象者の要介護認定状況(単数回答)	94
図表 5-6 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者のダブルケアが始まる前後の就業状況(単数回答)	95
図表 5-7 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者のなかで、現在(ダブルケア後)で有職である者の今後の働き方に対する希望(単数回答)	96
図表 5-8 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の子育てにおける種類別の負担感(単数回答)	97
図表 5-9 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の介護における種類別の負担感(単数回答)	98
図表 5-10 ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の子育てのあるべき担い手に対する意見(単数回答)	99

図表 5-11	ダブルケアを行う者のうち自分の子を育児する者の介護のあるべき担い手に対する意見(単数回答)	100
図表 5-12	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員)の抽出条件	101
図表 5-13	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員) 1 週間の就業時間	101
図表 5-14	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員) 就業時間に関する意向	102
図表 5-15	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員) ダブルケア開始前後の業務量・労働時間の変化	102
図表 5-16	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員)のうち、「業務量や労働時間等を変えなくてすんだ」者の理由や背景	103
図表 5-17	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員) 過去 1 年間における勤務先の制度活用状況	104
図表 5-18	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員) 育児に関するサービスの利用状況と利用意向	105
図表 5-19	女性のダブルケアを行う有業者(正規職員・従業員) 介護に関するサービスの利用状況と利用意向	106
図表 5-20	(再掲)回答者の性別(単数回答)	107
図表 5-21	男性のダブルケアを行う者の年齢層	108
図表 5-22	子育てに対する男性のダブルケアを行う者の負担感	109
図表 5-23	介護に対する男性のダブルケアを行う者の負担感	113
図表 5-24	男性のダブルケアを行う者に対する周囲のサポート	117
図表 5-25	男性のダブルケアを行う者の子育て関連サービスの利用状況	121
図表 5-26	男性のダブルケアを行う者の介護関連サービスの利用状況	126
図表 5-27	男性のダブルケアを行う者が理想とする働き方	131
図表 5-28	子育てに対する男性のダブルケアを行う者の規範意識	132
図表 5-29	介護に対する男性のダブルケアを行う者の規範意識	133
図表 5-30	男性のダブルケアを行う者が求める行政の支援策	134
図表 5-31	男性のダブルケアを行う者が求める勤め先の支援策	136
図表 6-1	本調査の実施体制	140

## はじめに

女性の活躍や、その前提としての働き方改革が求められる中、近年、晩婚化・晩産化等を背景に、育児期にある者（世帯）が親の介護も同時に引き受けるという、「育児と介護のダブルケア（以下「ダブルケア」という。）」問題が指摘されるようになってきている。育児・介護に関する研究は、それぞれ蓄積が進んでいるが、育児と介護を同時に担う「ダブルケア」については、まだまだ限定的であり、ダブルケアを行う者がどれだけの人数、割合で存在するのか、また、どのような問題を抱え、社会的支援を必要としているのか等を包括的に行った調査は、ほとんど見当たらない。そもそも、ダブルケアの定義は、子育て・介護の対象者との続柄、対象者の年齢、支援内容に金銭的支援を含むかどうか等が研究により異なっている。

こうした中、政府は、平成26年6月26日に決定した「女性活躍加速のための重点方針2015」において、女性のキャリア断絶の防止に向けた「ダブルケア」問題の実態について、調査を行うこととし、これに基づき、本調査を実施したものである。

このような背景を踏まえ、本調査では、ダブルケアの定義を吟味するとともに、ダブルケアを行う者の人数や割合、就業状況、必要とする社会的支援の3点を中心に、2つの公的統計（就業構造基本調査、国民生活基本調査）の個票による推計、及びインターネット・モニターによるアンケート調査を通じて、ダブルケアの実態把握を行った。

## 1. 調査研究の概要

### 1.1. 目的

経済の担い手として女性の活躍を更に促進するとともに、働き方を改革していくことが求められる中、近年、晩婚化・晩産化等を背景に育児期にある者（世帯）が親の介護も同時に引き受けるという、「育児と介護のダブルケア（以下「ダブルケア」という。）」問題が指摘されるようになってきている。しかし、ダブルケアがどれだけの人数、割合で存在するのか、また、どのような問題を抱え、社会的支援を必要としているのか等の調査はこれまでのところ行われていない。このような背景を踏まえ、ダブルケアの実態を把握するための調査を行った。

### 1.2. 調査研究手法

本調査では、基本方針として、以下を段階的に実施した。

- ・ 1：先行研究の整理
- ・ 2：ダブルケアを行う世帯・人口の推計
- ・ 3：ダブルケアを行う者の実態に関するインターネット・モニターによる調査

最初に、先行研究を整理し、これまでの研究成果やダブルケアが抱える課題を明らかにするとともに、公的統計の再集計ならびにインターネット・モニター調査の実施に向け、ダブルケアの定義や分析方法を実施する上での論点を整理した。

次に、就業構造基本調査ならびに国民生活基礎調査の個票を用いてダブルケアを行う者の人数・世帯数や基本的属性、就業状況等を再集計した。

さらに、インターネット・モニター調査では、ダブルケアを行う者の意識や支援制度の利用状況や行政への希望などを把握した。

### 1.3. ヒアリングによる検証

さらに、有用な調査設計、集計分析を実施するため、有識者へのヒアリングを実施した。

図表 1-1 有識者ヒアリング先一覧

氏名・所属	専門	ヒアリング事項	ヒアリング実施日
黒田祥子 早稲田大学教育 総合科学学術院 准教授	労働経済学 応用ミクロ経済学	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的統計(国民生活基礎調査及び就業構造基本調査)の集計分析結果に関する事</li> <li>インターネット・モニターによる調査における調査項目に関する事</li> <li>ダブルケアを行う者への政策措置等に関する意見</li> </ul>	平成 27 年 12 月 9 日
大石亜希子 千葉大学 法政経済学部 教授	労働経済学 社会保障論		平成 27 年 12 月 22 日
佐藤博樹 中央大学経営戦略 研究科 教授	雇用システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的統計(国民生活基礎調査及び就業構造基本調査)の集計分析結果に関する事</li> <li>インターネット・モニターによる調査における調査結果に関する事</li> </ul>	平成 28 年 2 月 26 日
相馬直子 横浜国立大学 大学院国際社会科学 研究科 准教授	家族政策		平成 28 年 3 月 1 日
山下順子 ブリストル大学 社会政治・国際学 研究科 講師			